

学道一如

発行 小樽双葉高校
生徒会通信
2023年12月22日
第54号

バレー部 私立高校の大会で善戦



手前が小樽双葉、帯広大谷との試合の様子

札幌大谷・帯広大谷と対戦 手応えと課題見つける

12月16、17日、私立高校のバレーボール大会が開催され、本校は札幌大谷、帯広大谷と対戦した。いずれも0-2で敗退したが、今後につながる良いプレーが見られ、1月、2月の新人戦に向けて気持ちを引き締めている。

主将の森あずささん(2-2)

は札幌大谷戦について「試合の入りはよかった。自分たちが思っ

ている以上に手応えを感じるこ
とができた」と語った。サー
ブミスや確認ミスを減らし、点
差が開いてもいかに自分たちの
バレーができるかが課題だと考
えている。

帯広大谷戦について「ミスが
多く、当たり前のことができな
かった」と悔しさをにじませた。
2日目は敗者で1セットずつ
対戦するリーグ戦を行った。札

バスケットボール部 新人戦 地区優勝

12月16、17日、バスケットボール新人戦小樽地区予選会が

開催され、

幌第一、札幌科学大学、稚内大
谷と本校の4校で対戦した。5
勝1敗だったが、「ミスで点差
を離せなかった」と振り返った。
新人戦で良い結果を
冬休みには練習試合や合宿が
組まれ、高体連新人戦の予選が
ある。「見つけた課題を徹底し
て直し、2月上旬の新人戦全道
大会で良い結果を残したい」と
抱負を語ってくれた。



小樽水産・小樽明峰・倶知安21-144小樽双葉
小樽潮陵25-97小樽双葉
主将の長凜華さん(2-2)は「みんな最
後まで走り切れたが、シュートを外したので、
決めきることが課題」と語る。リバウンドも
取り切り、全道ベスト8を目指す。

スタートメンバー

- 1. 長 凜華 (2-2)
- 2. 山中朱来 (2-3)
- 3. 菊地紗那 (2-2)
- 4. 吉住花梨 (2-2)
- 5. 早川茜里 (2-3)

双葉の郷里

まちづくりについて
調べると、山形県立米
沢女子短期大学でこ
んな研究がありました。

「高校生から見た住
みたいと思えるまちづ
くり及び地域活性化について」
というものです。この研究で
は福島県若松市の高校2年生
にアンケートをとっていまし
た。考察には、男子生徒はファッ
ションや流行りのもの、若者
の集まる場所、一日過ごせる
場所の他、街の交通機関の整
備等があれば、その街は魅力
的になる、女子の場合は、地
域が全国的に知られる、ある
いは地元出身の芸能人やタレ
ントの存在が魅力的な地域と
いう印象を与えると書かれて
いました。

この結果を見ると、地方か
ら東京に人口が流れてしま
う理由がわかるような気がしま
す。若者が集まり、誇れる地
域を作ることが、人口流出を
防ぐ一つの手段なのかもしれ
ません。

しかしながら、高校生の求
める街が必ずしも魅力的な街
とは限りません。それでも私
たち高校生がまちづくりに関
わることで自
分たちにとっ
て良い街にし
ていきたいと
そう感じまし
た。



(大塚翔太)